

F A X 送付案内

平成28年1月5日

A 4 枚（本状含む）

関係各位



鹿児島県農政部畜産課 家畜衛生係
担当者：濱崎

鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3226 FAX:099-286-5599
eikan@pref.kagoshima.lg.jp

台湾における高病原性鳥インフルエンザの発生について

平素よりお世話になっております。
台湾における高病原性鳥インフルエンザの発生について、農林水産省より情報提供がありましたのでお知らせします。

【概要】

発生日：2015年12月7日～24日

血清型：H5N2亜型（高病原性）7件，H5N8亜型（高病原性）3件

発生状況（2015年1月以降）：合計979件（農場，と畜場，係留所での確認）

鳥インフルエンザに関する情報（農林水産省HP）

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

このように、本病の発生については、世界各地で報告されており、依然として、国内への侵入リスクは高い状況にあることから、引き続き、緊張感を持って、本病侵入防止対策に万全を期していただきますよう、よろしくお願い致します。

本病侵入防止対策

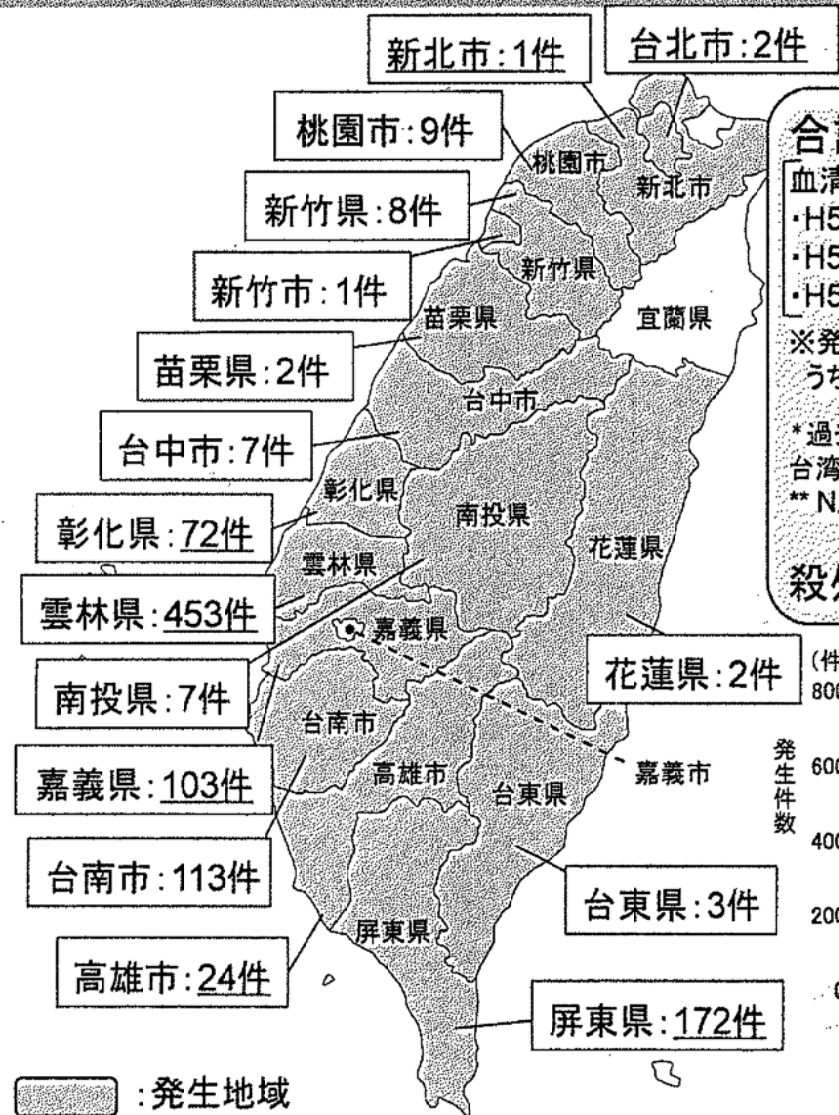
野鳥，ネズミ等の侵入防止対策，消毒の徹底（車、人）をはじめとした飼養衛生管理基準の遵守の徹底と、特に下記事項について日頃から確認いただき、小さな不備でも修繕・整備など早急に実施していただくよう、また、異常を認めた際の早期発見早期通報の徹底についてもご指導いただくようお願い致します。

記

- 1 鶏舎の穴をふさぐ（野生動物・ネズミ等の侵入防止）
- 2 防鳥ネットの補修（隙間のないように）
- 3 飲み水対策（水道水でない場合は消毒実施）
- 4 鶏舎専用の長靴，衣服の着用（鶏舎にウイルスを持ち込まない）
- 1 消毒の実施（鶏舎毎の踏込消毒槽，車両消毒，手指の消毒，鶏舎周囲への石灰の散布）

台湾における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザの発生状況

(2015年1月～)



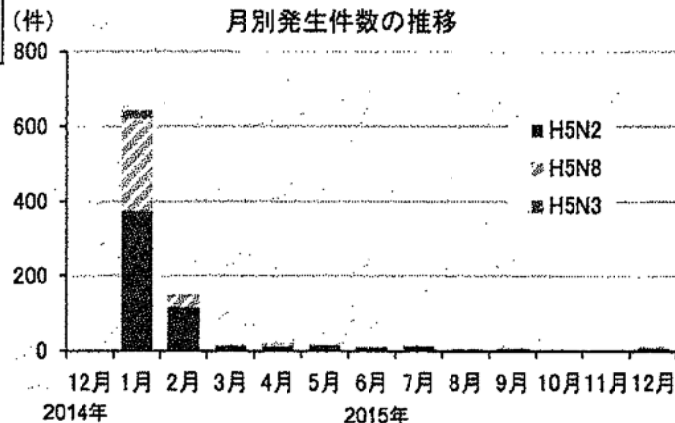
合計: 979件* (農場・処理場・係留場)

血清型
 ・H5N2* ・H5N2/H5N8混合感染
 ・H5N3 ・H5N2/H5N3混合感染
 ・H5N8 ・H5**

※発生件数の血清型別の内訳は未確定。
 うち少なくとも22件は低病原性鳥インフルエンザの発生。

*過去に台湾で検出されたウイルスによる感染及び過去に台湾で検出されたウイルスとの混合感染を含む
 **N亜型・病原性未確定

殺処分完了: 975件 (513万1,217羽)

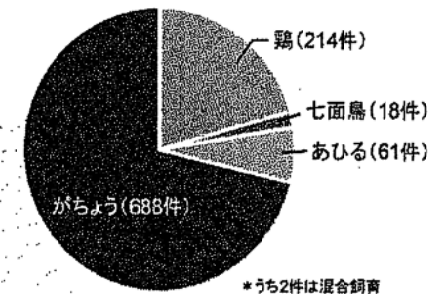


※日付が確認できた発生に限る。(2015年1月4日付けまでのOIE報告を基に作成。)

○野鳥における検出

確定日	場所	亜型	鳥種
4/4	彰化県北斗鎮	H5N2	スズメ (2羽)
3/16	高雄市高屏溪	H5	不明
3/9	高雄市茄苳湿地	H7N9 (低)	カモ
3/1	台南市安南区	H5	クロツラヘラサギ
2/1	台南市七股区	H5	クロツラヘラサギ
1/30	台東県台東市	H5N2	ゴイサギ
1/19	屏東県長治郷	H5	ツグミ
1/18	苗栗県竹南鎮	H5N3	シロガシラ (3羽)

家きんの種別確認件数 (981件・)



台湾における種別飼養状況

	鶏	あひる	がちょう
飼養戸数	5,798	2,816	971
飼養羽数 (万羽)	9,213	962	177

※2015年1月15日の台湾当局公表資料を基に作成

注: 本図のH5N2及びH5N3亜型の高病原性鳥インフルエンザウイルスは、過去に台湾で確認されたウイルスと異なり、これらウイルスのH5遺伝子は韓国のH5N8亜型ウイルスのH5遺伝子と近縁。

以下については、本図に記載していない。

①1月6日屏東県の採卵鶏農場で発生した従来型 (1件)。

②発生農場の半径1km以内の家きん農場におけるサーベイランスの結果、64農場でH5亜型のウイルスを検出。

出典: 台湾行政院農業委員会動植物防疫検疫局、OIE

2016年1月4日現在